

好地まちづくりだより

発行／好地地区まちづくり委員会 事務局／石鳥谷国際交流センター内 TEL・FAX 45-6639

第87号

発行日
令和5年
3月15日

PHOTO

「好地」の未来へ向けた「ビジョンづくり」ワークショップ

ごあいさつ

好地地区まちづくり委員会

会長 藤 館 茂

今年度も好地地区まちづくり委員会の諸事業に対しご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

コロナ禍の関係で、コミュニティ会議による地域づくりが推進できない時期が続きましたが、お陰様で令和4年度の事業は、全てではなかったものの、屋外を中心に実施し前進することが出来ました。申し込み初日の午前中で定員に達した事業もあるなど、再開を楽しみにされていたのだと思います。補助事業は、環境に関する整備に例年以上の申し込みがあり、役員会で補正予算により対応させていただきました。

この3年間子供たちは、沢山の我慢によく耐え乗り越えてきたのではないのでしょうか。皆様におかれましても、通いの場での生活が出来なかったことで、培った体力や筋力を奪われてはいないかと

案じておりました。

そのような状況下、今年度地区内2つの駅がリニューアルされました。中心市街地の活性化と地域振興を担う施設「まちの駅いしどりや酒蔵交流館」は、2005年11月に開所した施設を解体後に再整備され完成し、昨年7月1日に落成記念式典を開催。1993年に開業した岩手県最初の「道の駅石鳥谷」も、今年の夏リニューアルオープンの見通し。JR石鳥谷駅を含めた3駅は、集う(通う)場として大切な拠点となっています。

ここに、当委員会5部会の事業報告をさせていただきますが、令和5年度の事業計画づくりに向けて、心と体がより元気になるようなアイデアをたくさん寄せていただければ幸いです。

桜が開花する頃には、以前の日常を取り戻し気兼ねなく3駅を利用するなど、すべての世代が再び密なる青春を過ごすことが出来るようになっていくことを願ってやみません。

新年度も宜しく願っています。



当部会では、「地域づくり推進」「地域内交流推進」「防災推進」「活動拠点整備」を柱に、各事業に取り組んでまいりました。

主な事業の取り組み状況についてご報告いたします。

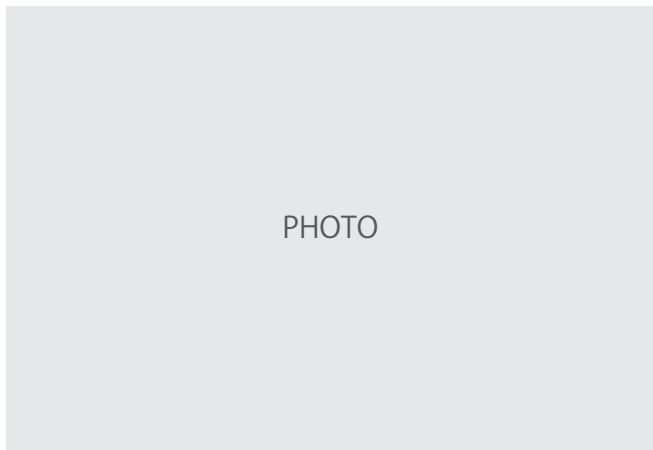
地域づくり推進では、平成24年度に作成した「好地地区まちづくりビジョン」の見直しに向けてワークショップを開催しました。各町内会・自治公民館から選出された約30人の方々に4回にわたって、好地地区の現状の把握、新たなビジョンの検討、その実現のためのアクションプランの検討を行っていただきました。ワークショップにご参加いただいた皆様から多くの有意義なご意見を頂戴し、大変ありがたく思っております。

地域内交流では、新型コロナウイルス感染症の急拡大により新年交賀会を実施することがで

きませんでした。3年ぶりに在京石鳥谷町人会の方々との交流を行うことができました。

防災推進では、今年度も防災訓練を実施できず残念でしたが、自主防災研修では自主防災組織の代表の方にご参加をいただき、震災時・水害時の自主防災活動や感染症対策時の避難所運営等について学んでいただくことができました。

今後も皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



防災研修会



コロナ感染阻止の観点から、たくさんの交流事業が中止・縮小されて3年。今年度は「石鳥谷まつり」が開催されたことが嬉しい一歩でした。

保健福祉部会は「互いに支えあう明るいまちづくり」の重点目標のもと、グラウンドゴルフや軽スポーツ、ヨガ教室、恒例となった干支粘土細工教室など開催できました。制限は緩んでも変異株の拡大など感染状況に鑑みて参加者の

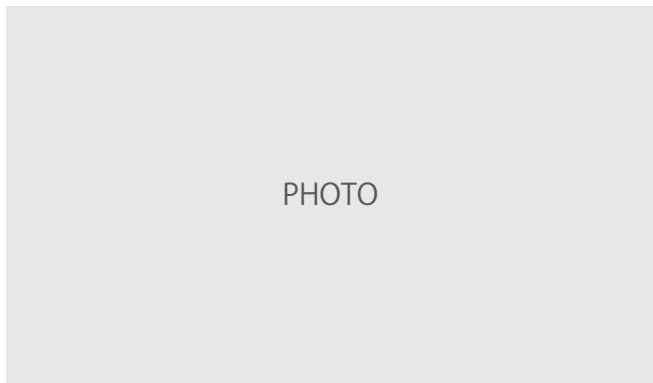
減少がありました。各々が油断なく対応されてのことでした。

敬老事業は、対象のかたにお祝い品をお渡しいたしました。子育て事業は中止になりました。福祉支援では除雪機の貸し出しをしています。

事業をとおして、少ない人数でも継続して開催されたことに地区の方々の絆があってこそと改めて思います。この絆を芯に、来年度も楽しい企画や事業が出来ることを期待します。



軽スポーツ教室 ノルディックウォーキング



干支粘土細工教室

産業振興 部会

部会長 岩館 大輔

今年度は、当部会のメイン事業である「酒蔵まつり（春夏秋冬の年4回）」を、ほぼ通常通り開催する事ができました。

世間では、中止・縮小される事業も若干あったようですが、当部会の事業が予定通りに開催できた事は大変喜ばしい事でありました。

これもひとえに、関係各位の日頃のご精進の賜物でございます。感謝申し上げます。

最近の変化といたしまして、イベントに参加

される出店者様・来場者様の数が、回を重ねる毎に増えております。

これは「外出し、人と直接触れ合う」という、当たり前の日常を取り戻そうとする現れではないでしょうか。

イベントを開催する事でその一助となれば、という想いでございます。

町民の皆様に喜んで頂けるよう、より一層努めて参ります。

今後とも、当部会の活動に対するご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。

PHOTO

酒蔵まつり春の陣 さくらまつり

PHOTO

酒蔵まつり秋の陣 ハロウィン

生活環境 部会

部会長 関 公士

令和4年度も順調に事業をこなすことが出来、地域の皆様に感謝を申し上げます。当部会では「環境を整え、心豊かに

暮らせるまちづくり」の重点事項をもとに、生活環境、地区内環境整備、交通安全推進、防犯推進、環境保全の5事業を取り組みました。

なかでも地区内環境整備事業においては、街路灯や防犯灯が経年劣化などによる電球の交

換・修理が多くなる中で、「水銀に関する水俣条約」により2021年度以降は水銀灯の製造・輸出入が禁止、また大手照明メーカーの蛍光灯器具の生産終了などで資材が手に入りにくくなることから、早急に街路灯のLED化を進める必要が出てきました。

これらを推進するにあたり、街路灯改修整備事業費補助金を増額し、地区内の街路灯組合が所有する多くの街路灯を、LED設備に順次更新することが出来ました。

このことにより地区から排出される温室効果ガスや年間電気使用料金の削減、夜間の視認性向上による事故や犯罪の防止、そして効率的な街路灯の維持管理の実現につなげる事が出来ました。

当部会では皆様から整備要望等を随時受け付けています。区長や関係団体を通じてまちづくり委員会事務局に出していただきますよう宜しくお願いします。

PHOTO

特殊詐欺被害防止教室



今年度の事業は、コロナ感染症の影響もありながら、その状況を見つつ、粛々と事業を実施してきました。

子ども体験学習による物作り・生涯スポーツでの山登り・異文化交流での料理作り・地区民俗文化祭での作品公開など、事業によっては、少人数での開催となった活動もありましたが、少しずつでも、事業活動が広がってきたように感じています。

今後の教育振興部会の活動においても「青少年育成推進事業」「国際交流事業」「生涯学習推進事業」「生涯スポーツ推進事業」の4本を主軸とし、スローガンとして掲げている「自ら学び愛着と生きがいを持てるまちづくり」を目指し取り組んでいきたいと思えます。

まだ、コロナ禍における感染対策等についても止むを得ない状況ですが、新しい取り組みを踏まえながら、交流の場を発信していきますので、皆様の参加をお待ちしております。



夏休み子ども体験教室 オリジナルプレートづくり



秋の登山教室 秋田焼山

令和4年度 好地地区まちづくり委員会

会 長 藤 館 茂 <small>1区推薦</small>	副会長 立 花 英 一 <small>17区推薦</small>	副会長 菊 池 澄 子 <small>16区行政区長</small>	監 事 大 竹 芳 和 <small>5区推薦</small>	監 事 近 藤 健 一 <small>17区推薦</small>
--	---	---	--	---

令和4年度 各部会の主な事業

総務企画部会 ★ 地域づくり推進事業 ★ 地域内交流推進事業 ★ 防災推進事業 ★ 活動拠点整備事業	保健福祉部会 ★ 高齢者福祉推進事業 ★ 福祉支援事業 ★ 子育て支援事業	産業振興部会 ★ 商工農連携事業 ★ 地域活性化事例研修	生活環境部会 ★ 生活環境事業 ★ 地域内環境整備事業 ★ 交通安全推進事業 ★ 防犯推進事業 ★ 環境保全事業
教育振興部会 ★ 青少年育成推進事業 ★ 国際交流事業 ★ 生涯学習推進事業 ★ 生涯スポーツ推進事業			

編 集 後 記	第 87 号	
----------------	---------------	--

新型コロナウイルスが発生してから3年目となり、その間、まちづくり委員会の事業はなかなか予定通り実施することができない状況でした。しかしながら、感染者数が減少傾向となったことにより、各部会の事業がほぼ計画通り実施できるようになり安堵しております。これも各部会で感染症対策をしっかり実施したおかげだと思っております。今後とも御協力お願い申し上げます。

しかし、1月に入り一部の県で新規感染者数が最多を更新。また、死者数が急増してきました。御多分に漏れず当部会で予定をしておりました、新年交賀会も開催を見合わせる事となりました。改めまして、地区の皆様におかれましては、更なる感染症対策（マスク・手洗い・消毒）を実施していただき、コロナ禍の中でも安全・安心に過ごしていただきますよう心からお祈り申し上げます。

（総務企画部会編集委員）